

京都市生涯学習総合センター
京都市図書館

令和7年度採用案内

図書館で働きたい



募集要項
嘱託職員

公益財団法人
京都市生涯学習振興財団



「まなびたい」を支えたい

公益財団法人 京都市生涯学習振興財団

「学び」で人生と社会をより豊かに

「人生100年時代」をより豊かに、生きがいを持って暮らすためには、生涯にわたって自ら学び続けることが重要です。

生涯学習とは、人々が生涯にわたって行うあらゆる学習活動のこと。まさに「人生100年時代」を迎えるうえで大切な活動といえるでしょう。

京都市生涯学習振興財団は、昭和56年、京都のもつ歴史と文化を生かした生涯学習事業を行い、市民の自発的な学習意欲を喚起して生涯学習の振興を図るとともに、京都市域における教育と文化の発展に寄与することを目的に設立されました。

以来、40年以上にわたり、京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）や京都市図書館での事業を通じて、京都市の生涯学習を担い続けています。

京都は大学や博物館が数多く集まり、文化財、伝統産業から先端産業などが集積するまちです。当財団では京都の特性を生かし、多彩なテーマの講演会や、大学・企業との連携など、様々な事業を企画・実施しています。

職員の多くは司書資格を保有しており、図書館はもちろん、司書としての知識と経験、図書館サービスを通じて得たコミュニケーション能力などを活かして、生涯学習事業の分野でも活躍しています。

最近では、オンラインでの講座の実施や図書館での電子書籍サービス、SNSでの広報活動など、ICT（情報通信技術）を活用した取り組みも行い、活躍の場はますます広がっています。

私の信念に「自鍛自恃（じたんじじ）」という言葉があります。多様化し変化の激しい時代ですが、自ら学び鍛えることによって、他人を当てにせず、自らに^{たの}恃むことができます。皆さんも学び続け、恃みとなる自らを磨き高めていただきたいと思います。

学びは人生と社会をより豊かにします。すべての人々が学び続ける場を一緒につくり、市民の「まなびたい」気持ちに寄り添っていただける皆さんをお待ちしています。



公益財団法人 京都市生涯学習振興財団
理事長 松本 紘

法人概要

法人名	公益財団法人 京都市生涯学習振興財団
所在地	京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2
代表者	理事長 松本 紘
基本財産	8,000万円（京都市からの出捐率100%）
役員等	理事 13名、監事 2名、評議員 13名
職員数	220名 ※令和6年4月1日現在 （正規職員 108名、退職再雇用職員 59名、嘱託職員 48名、京都市派遣職員 5名）
主な事業	京都市生涯学習総合センター（本館・分館）での生涯学習事業の実施 京都市図書館事業の実施

組織図



事業所案内

当財団では京都市からの委託を受け、京都市生涯学習総合センター（2か所）と京都市図書館（18か所）で事業を実施しています。





生涯学習総合センター事業

『豊かな人生は学びとともにある』



京都市生涯学習総合センター
千 玄室 所長

京都市では、まち全体を学びの場とすることで、子ども・若者からご年配の方まで、あらゆる世代が学ぶ喜びを実感し、みずからを磨き高めて、社会を創造していくことができるまちづくりを進めています。

京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）は、皆様の学びたい意欲を応援する、生涯学習の拠点です。京都ならではの「地域力」「文化力」「人間力」を結集し、教養講座、実技講座をはじめ、コンサートやシネマまで、様々な学びの場を提供しています。

情報が溢れ、複雑・多様化する現代、日本の文化やこころが見直され、京都市では、日本のこころのふるさととして「こころの創生」にも取り組んでいます。

私は、この70有余年、「一碗からピースフルネスを」という理念を掲げて、「和敬清寂」の茶道のこころを、国内外問わず、世界中の人々に伝えるために努めてまいりました。ここアスニーでも、京都の誇る歴史や文化、伝統芸能など、京都でしか味わえない京都ならではの学びはもとより、時代が要請する学びのニーズにも応えられるよう取り組んでいます。京都は1200有余年の悠久の歴史の中で、先人に学び、伝統を継承しつつ、国際的な繋がりも持ちながら、常に新たな文化を創造してきました。

今日の学びが明日に繋がり、皆様の人生を豊かなものにするとともに、新たな文化を創造し「文化首都・京都」の発展、日本の未来に繋がることを願っています。

（京都アスニーホームページ 千所長ごあいさつより）

生涯学習総合センターでの仕事は、事業の企画から運営、窓口での接客対応など、まさに生涯学習の最前線での仕事。

時代のニーズ、市民のニーズを捉えつつ、自身の経験や知識を活かしながら、魅力的な「学びの場」を作る、やりがいのある仕事です。

生涯学習センターの主な業務



□講座・講演会の企画運営

京都アスニー・アスニー山科では、様々な分野の専門家を講師にお招きし、多彩な講座・講演会を実施しています。

当日の運営はもちろん、市民のニーズを捉え、旬のテーマに沿った講座を企画。講師の選定や効果的な広報なども大切な業務です。

□平安京創生館の運営

京都アスニー 1 階の平安京創生館は、平安宮造酒司（みきのつかさ）跡に建つ、京都通の隠れた新名所。

年 2 回開催する特別展の企画や、案内ボランティアの調整、さらには関連講座の企画や書籍の販売管理なども担当していただきます。



□貸会場の受付

京都アスニー・アスニー山科では、会議室や研修室、ダンスや合唱の練習に利用できるサークル活動室の貸会場業務も行っています。

会場の受付業務だけでなく、気持ちよく利用していただくための館内の整備や活動発表の場である文化祭の企画など、市民の生涯学習活動をお手伝いする業務です。



詳しい業務内容は
こちらから



京都アスニー



アスニー山科

生涯学習センター勤務の一日 ～早番の日の場合～

8:30出勤	9:00	12:00	14:00	16:00	17:15終業
・ミーティング ・お客様をお迎えする準備	・貸会場案内 ・駐車場対応 ・イベントの打ち合わせ	・休憩	・自習室受付 ・統計資料の作成	・ホール下見のご案内 ・催し案内のレイアウトの変更	・翌日の準備

お客様が
続々来館
されます

発表会や講演会
ご希望をしっかりと聞きし
ぴったりのお部屋を案内します

たくさんある催しの案内を
見やすく楽しく飾り付けるのも
大切な仕事です





図書館事業

『著者を呼び出す』

図書館が図書を蒐集、閲覧に供する以上、図書なくして図書館はありません。そしてまた、文字がなければ図書はできません。

ところが現代においても、文字をもつ言語は世界中の言語の20パーセントにしかすぎません。書物が身のまわりにごろごろしているといった、もうほとんど当り前のわれわれの風景は、じつはきわめて高度で選ばれた社会の現象なのです。

そのように貴重な文字によって書かれた図書なのに、最近「文字離れ」だの「本を読まなくなった」だのと騒がれています。ここでもう一度、文字や図書の文明における価値を思い起こしてみるべきではないでしょうか。

人間の、文字をめぐる行為は「書くこと」と「読むこと」です。人間は書くことによって精神を成熟させ、心を豊かにし、思考を緻密にします。その結果でき上がった図書を読むことは、贅沢なまでに多数の人の感情や思想を我が物とします。「読む」と「呼ぶ」とは本来同一の行為だという説があります。書物を読むことは著者に向かって問いかけ、著者の心を呼び出すことなのです。考えただけでも、心躍る行為ではありませんか。

皆さん、書物を開いて著者に問いかけてみましょう。どう質問すればどう答えてくれるか、楽しみです。ですから声を出して呼ぶー読むのが、もっとも有効かもしれませんね。

(京都市図書館ホームページ 中西館長挨拶より)



京都市中央図書館
京都市右京中央図書館
中西 進 館長

図書館は市民に最も身近な生涯学習施設です。そこで働く司書は図書の貸出だけでなく、選書、分類、読書案内やレファレンスサービスなど、図書館に関するあらゆる業務を行う専門職。当財団でもそれぞれの職員が司書としての専門知識を活かし、市民の「知的好奇心」を満たすため、日々活躍しています。

図書館の主な業務



□窓口業務

貸出・返却だけでなく、利用登録や予約の受付さらにはレファレンスサービスなど、図書館窓口での業務は多岐にわたります。

利用者の求める情報に的確にたどり着くには、コミュニケーションが大切です。



□行事の企画・実施

読書の楽しさを伝えるため、図書館では様々な行事を実施しています。読み聞かせや図書の展示だけでなく、時には図書館の外に飛び出して、学校や屋外で実施することもあります。



□広報

多くの方に図書館を知っていただくため、広報活動にも力を入れています。

情報誌の作成やSNSなど、各図書館が工夫を凝らした広報で、図書館の魅力を発信しています。



詳しい業務内容は
こちらから



京都市図書館ホームページ

図書館勤務の一日 ～遅番の日の場合～※

11:30出勤	12:00	13:30	14:30	16:00	20:15終業
•早番の職員から引継ぎ •貸出カウンター	•展示コーナー入れ替え •レファレンス対応	•おたのしみ会での絵本の読み聞かせ	•ブックメール •書架返却	•休憩	•閉館後の片づけ

展示コーナーの入れ替えでは旬のテーマや季節にあわせて本を選び、POPも手作りします



他館から取り寄せた予約本や地下鉄駅の返却ポストに返却された本は「ブックメール」で毎日各図書館に届きます

※図書館の勤務時間は館により異なります

先輩からのメッセージ

Aさん
地域図書館館長
(課長級)

平成10年4月採用、事業館や図書館で勤務後、令和5年4月から地域図書館館長として活躍中。



Q 司書として一番大切なことはどんなことだと思いますか？

A 資料の情報に興味を持ち、いつもアンテナを張って、どのように活用・提供できるかを考えていることだと思います。

Q これからどんな図書館をつくりたいと思いますか？

A 「今日は寄ってみようかな」と思えるような、いつも地域の方々の拠りどころの1つとなる場所でありたいと思います。

生涯学習総合センターや図書館、総務部門などを経て、昨年久しぶりに図書館の現場に戻ってきました。離れていた業務に戸惑いながらも、やはり現場は楽しく、培った経験を生かして日々チャレンジしています。

入職以来、自分のライフステージも変化し、子育てをしながら仕事を続けるのは大変でしたが、家族や周囲の支えに恵まれ、これまでの年月があることに感謝ばかりです。

今まで培ってきたものを残しつつ、元気なスタッフと共に、これからも皆様に親しまれる図書館を作っていきたいと思います。



Bさん
地域図書館副館長
(係長級)

平成15年4月採用
地域館、中央館で勤務後、令和6年4月から地域図書館副館長として活躍中。

Q 図書館の仕事のなかで一番楽しい仕事はどんな仕事ですか？

A 利用者の質問に対して、知識や経験をもとに資料を提供し、期待に応えられたときに楽しさややりがいを感じます。

Q 働くうえで大切にしていることはどんなことですか？

A 職場のチームワークを築くことです。職員同士が協力し合うことで、業務を円滑に行えるよう意識しています。

図書館には、多くの利用者が様々な目的を持って来館されます。調べもののお手伝い、資料の展示、各種発行物、行事の開催などの多様な手段を駆使して、「本の魅力を伝え、人と本を結びつける」ことが司書の仕事です。

利用者と日々向き合ううちに、知識や経験も蓄積され、より迅速かつ的確に学びのサポートができるようになります。自分自身が成長しながら、人の助けになっていると実感できることに喜びを感じます。



Cさん 事業館職員

令和3年4月、嘱託職員として採用。中央館勤務後、令和6年4月、総合職員採用試験に合格。現在は事業館職員として活躍中。

Q 事業館の仕事の中で一番楽しい仕事はどんなことですか？

A 利用者さんや先生方は皆さんバイタリティにあふれているので、お話しすると元気をもらえることです。

Q 図書館と事業館の仕事で共通しているのはどんなことだと思いますか？

A 図書館と事業館で形は違っても、生きがい、楽しみ、学びたい気持ちを応援するという点で目標は同じです。

事業係では、毎週のお稽古事や、単発の講演会、コンサート、平安京創生館など、アスニーでの様々な事業を運営します。幅広い分野の事業が開催されるため、仕事を通じて自分の世界が広がることも楽しみの一つです。

実際に、仕事をきっかけにプライベートでもアンテナを張る範囲が広がったように思います。

図書館での経験も受講生の受付や細かな事務処理に活かせるので、少しでも生涯学習に貢献できればと思う毎日です。

Dさん 地域図書館職員

平成31年4月、嘱託職員として採用、中央館勤務後、令和4年4月総合職員採用試験に合格。現在は地域図書館職員として活躍中。



Q 図書館で働いて一番驚いたことはどんなことですか？

A 黙々と作業するイメージが強かったのですが、実際には利用者とのやり取りなどで、こんなにも話す仕事なんだと知って驚きました。

Q これからどんな仕事に挑戦したいと思いますか？

A 新しいイベントの企画立案にチャレンジしたいです。世代の分け隔てなく参加できるイベントをやってみたいと思っています。

図書館で働いていると、難しいレファレンスに頭を悩ませることもあれば、思わぬ力仕事で体を使うこともあります。一筋縄ではいかないこともありますが、やり切った時の達成感があります。

「誰かの役に立つ仕事」をしたいと思っていた私にとって、利用者からかけてもらう「ありがとう」の一言は何物にも代えがたいものです。

様々なことが起こる図書館での仕事はやりがいに満ちていて、毎日楽しく仕事をしています。

先輩へのインタビュー

実際に財団で働く嘱託職員の先輩に、財団の印象などを聞いてみました。

答えてくれた先輩



Eさん
事業館嘱託職員

令和5年4月採用
事業館で、貸会場の
受付業務などを担当

Q Eさんは生涯学習総合センターで貸会場の受付を担当する部署で働いておられますね。職場の雰囲気をお願いします。

A ここでは連携がとても大切です。日々の業務の中やちょっとした雑談の中でこまめに情報を共有し、互いに助け合える環境は、働きやすい職場だと感じています。

 財団で勤務する職員は補助的な業務を担う臨時職員を含めると約500人。役職や年代も様々なので、ミーティングや業務の合間の雑談を通じて絆を深めています。

Q Eさんは財団で働いて2年目ですね。実際に働いてみた感想、例えば驚いたことなどはありますか？

A 皆さんの持つ視野の広さです。経験からくる視点はもちろん、当たり前だけれど見えていなかったことや自分では考えつかなかったことを目にしたときはいつも驚かされます。

 財団では職員研修のほか、自主研修支援の制度も設けています。自己研鑽を積むことでどんどん視野を広げていってください。

詳しくは次のページ

Q 忙しい日々が続くとストレスもたまってしまうと思いますが、休日はどのようにして気分転換をしていますか？

A 好きな音楽を繰り返し聴くことが多いです。休日は趣味のボードゲームを見に行ったり遊んだりします。季節によっては観光名所に足を運んだりして気分転換を図っています。

 趣味や健康管理に活用できる福利厚生制度も設けていますので、積極的に活用し、ワークだけでなくライフも充実させてくださいね。

詳しくは次のページ

キャリアパス



嘱託職員は採用1年目から、総合職員への採用試験を受験することができます。

< 正規職員採用実績 >

令和2年度：6名 令和3年度：6名 令和4年度：5名 令和5年度：5名
令和6年度：6名

総合職員採用後は本人の能力や適性、希望等に応じて、異動があります。
また、既定の年数以上勤務し、係長能力認定試験に合格した職員は、主任級に昇任。
その後も係長級、課長級へと昇任が可能です。



財団の課長級職員19名のうち女性12名
女性も男性も、みんなが活躍できる職場です

研修制度

図書館新任職員研修

図書館で初めて働く職員を対象に、図書館が実施するサービスの内容や図書館の1日の流れなど、基礎的な事柄を中心に研修します。

レファレンス研修 児童サービス研修

図書館が行うレファレンスサービスや児童サービスについての研修です。
基礎研修のほか、ステップアップ研修なども実施しています。

その他の研修

業務のスキルアップのための研修のほか、関係機関が実施する外部研修にも参加していただきます。

自主研修支援制度

担当する業務に直接必要となる技能や知識の習得・向上を目的として職員が自主的に受講する研修等について、受講料等の一部を支援する制度です。
司書資格取得のための受講も対象となります。

福利厚生

- ・ 社会保険完備（健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険）
- ・ 定期健康診断の実施
- ・ 職員厚生会（ベネフィット・ステーション会員特典、給付金制度など）



採用情報

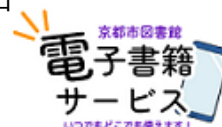
詳しい採用情報は
募集要項をご覧ください



採用予定者数	20名程度
採用予定日	令和7年4月1日
職務内容	生涯学習事業企画運営等業務・図書館業務 ※いずれの業務も来館者対応等の窓口業務が中心です。
勤務場所	京都市生涯学習総合センター（京都アスニー・アスニー山科のいずれか） 図書館業務（市内18館のいずれか）
勤務形態	週5日、1日8時間45分（休憩時間60分含む）の ローテーション勤務で、土・日・祝日の勤務あり 原則として、時間外勤務なし ※勤務時間は勤務場所により若干異なります。
給料月額	178,300円（令和6年度実績）※社会情勢に応じて改定あり 通勤手当（条件に応じて）、休日手当、賞与（年2回予定）
休日休暇	定例の休館日を含み4週間を通じて8日以上 年末年始等、（公休日年間120日以上） 年次有給休暇（初年度10日）、各種特別休暇（結婚・服喪等）
申込期間	令和6年11月1日（金）～11月18日（月） ※消印有効
選考日程	書類選考（履歴書・自己アピール書）の通過者に対して次の日程で 選考を実施します。 第一次選考：令和6年12月17日（火） 第二次選考：令和7年1月14日（火）

公益財団法人 京都市生涯学習振興財団

所在地 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2
電話 075-802-3141
URL <https://asny.ne.jp/foundation/>



スマホ・タブレットで本を読もう！
どうやって使うの？どんな本があるの？
詳しくはウェブサイトで！

<https://web.d-library.jp/kyotocity/>

